

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	秋田県児童会館	設置年	昭和 55 年
所在地	秋田市山王中島町1番2号		
指定管理者	特定非営利活動法人あきた子どもネット		
県所管課	次世代・女性活躍支援課	子育て支援 チーム	

1 施設の概要

設置目的	児童に健全な遊びを提供してその健康を増進し、及び情操を豊かにするとともに、自然と文化に関する児童の認識を深めてその豊かな人間性と創造性を育む。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標					
	「秋田県こども計画」において、乳幼児から高校生までの子どもを対象とした健全な遊びや活動の拠点として位置付けられている。					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの					
	上記の位置付けに加え、さらには児童の居場所となるよう機能の充実を図ることとしている。					
施設の面積	敷地面積4,373.54㎡、建築面積3,145㎡、延床面積5,672.7㎡					
主な設置施設	レクリエーションホール、子ども劇場、プラネタリウム、木育ルーム、図書室など					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制）				
	料金設定	別紙による。				
	サウンディング実施対象施設※	×				
	指定期間	R5.4.1		～	R10.3.31	
	営業期間・時間	1月4日～12月28日 午前9時～午後5時（月曜日定休）				
	一 使用の許可、使用の許可の取消し並びに使用の制限及び停止に関する業務					
	二 施設及び設備の維持管理に関する業務					
自主事業の内容	三 児童の健全な遊びの提供に関する業務					
	四 自然と文化に関する教育活動に関する業務					
	五 全県の児童館のセンターとしての業務					
	毎週および季節の工作事業、助産師による育児相談、科学実験、絵本読み聞かせ、季節の行事、グランドピアノコンサート、遊び歌コンサートや映画上映会などの開催。HP・Facebook・Instagramによる情報発信等					
直近3年の年間利用者数	R4	79,267 人	R5	108,633 人	R6	113,292 人
直近3年の年間利用収入	R4	8,882 千円	R5	11,893 千円	R6	11,610 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6
収入 計		68,166	69,962	71,493	75,395	74,499
利用料金収入		6,130	8,563	8,882	11,893	11,610
指定管理料		59,531	59,465	59,742	61,922	61,880
その他収入		2,505	1,934	2,869	1,580	1,009
支出 計		64,980	69,608	71,695	74,198	74,887
人件費		34,273	34,312	34,508	35,895	38,981
光熱水費		9,431	12,855	16,445	15,927	16,855
修繕費		4,744	5,279	2,622	2,582	1,713
外部委託費		9,738	9,738	9,808	9,696	10,012
その他経費		6,794	7,424	8,312	10,098	7,326
差 引		3,186	354	▲ 202	1,197	▲ 388

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点Ⅰ> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和6年度 の目標	利用者数 100,000人
--------------	---------------

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	実績	113,292	達成率	113.3%	
	具体的な 取組と その効果	自主企画事業の実施件数は昨年から大きな変化はなかったものの、感染症への意識変化などから来館者、事業1件あたりの参加人数ともに増加した。またプラネタリウムの席数制限の緩和や、ボランティアや外部団体と協力した事業の増加などを行った。事業内容も、国際色の強い企画や保護者向けの事業等、これまでにない展開を図った。			
直近3年 の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標	60,000	60,000	80,000	
	実績	58,900	79,267	108,633	
	達成率	98.2%	132.1%	135.8%	
令和7年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用者数 110,000人			
	設定根拠	令和7年度は、11万人を利用目標とする。定期で開催している工作や育児支援の他、ボランティアによる新たな事業も外部からの協力も得ながら充実を目指す。経年劣化の箇所が多々散見されるが、安全面に配慮しながら修繕を行いつつ利用促進を図る。			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点Ⅰ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	令和6年度の目標を達成した。昨年のコンセプトである「ここに来たら何かやっている楽しみ」にのっとり各事業を行い来館者が楽しめる企画を行った。ボランティア団体との協働や自主事業も意欲的に行った。
	県 (所管課)	A	児童に健全な遊びや新しい企画の実施により、利用者目標を113.3%達成している。劇場利用者が昨年度より減少しているが、緞帳の修繕による劇場の休館によるものである。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	90.5		
	具体的な 取組と その効果	昨年度に引き続きイベントの拡充及び量的緩和、スポットクーラーの設置による館内環境の整備、ホームページのリニューアルなど、利用者数及び満足度の向上を図った。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	87.4	96.5	96.2	

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	一昨年からの高満足度維持を目指し、実施事業の拡充及び館内環境の整備を図った。一方、駐車場や館内の冷暖房など、利便性や館内環境に対する意見は未だ多くあり、満足度が昨年度から低下した。
	県 (所管課)	A	利用者の意見にきめ細かく対応していることから、満足度は高水準を維持している。劇場の暑さ対策として、利用時間前から冷房を稼働させて対応している。また、ホームページがリニューアルされ、またSNSも活用して自主事業の周知をしている点が評価される。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	昨年度より小破修繕等削減に努めた結果、前年度よりも34%減で修繕費用が削減できたが、高騰する光熱水費に経費が圧迫され、支出全体としては赤字となった。
	具体的な 取組と その効果	備品等について、今期は現状維持に注力し、新規購入等を行わなかった。併せて劇場で必要な照明等も購入本数を減らし、間引き照明等に対応した。一人当たりの経費としては3%減少している。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	収入に関しては前年度と同水準。他施設閉館の影響も落ち着きを見せたが、劇場施設の需要は依然としてあり、利用件数も前年度同水準を維持している。
	具体的な 取組と その効果	劇場は人員不足が続き、苦慮しながらの対応となった。次年度はさらに人員が減る為、開館可能日を減らさざるを得ないことから、収入が減少する予測になる。

＜観点Ⅲ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	利用者1人当たりの経費として3%削減している。
	県 (所管課)	B	経費については、物価高騰の影響により光熱水費は増加しているが、使用量については、節減に努めたことにより減少している。 収入については、利用料が昨年度より減少しているが、緞帳修繕による休館の影響がある。稼働率が前年度から1.8ポイント下がっていることからB評価とする。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があつたか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	○光熱水費削減 燃料費や各光熱水料金の値上げに伴い、購入燃料量の削減・暖房温度の調整や節電を実行しているが、それでも高騰した分の削減には対応できず経費がかさんでいる現状がある。 ○人員配置 施設の管理運営に必要な人員を配置しており、サービス提供に支障は生じていないが、今後を担う人員の補充が予算の都合上できない。 ○職員の資質向上 定期的に防災研修を行い、来館者対応の共有をするとともに、希望者は子育て支援員研修を受けている。また自主事業にも意欲的に取り組み、来館者増加につながっている。 ○地域や関係団体等との連携 地域の読み聞かせグループや民謡団体、秋田大学の奇術研究会等へのイベント依頼や、企業にも呼びかけ、整体院の子ども姿勢チェックや 映像制作会社と企画やJICAとの国際色豊かな協働事業等も含め、地域で活動している団体やボランティア企業と連携を図っている。 ○安全対策 施設の点検結果から、おもちゃやタイルの隙間を埋めるなどの修繕を行い、利用者が安心して利用できる状態を保っている。また、木育及びレクホールの木部の修繕、また施設及び劇場の雨漏り等の対策を行いつつ、各所の危険箇所等を確認し、必要な修繕を適切に行っている。しかし、施設の老朽化により危険箇所が増えているため、抜本的な対策を協議する必要がある。 ○危機管理等 事故防止マニュアル等及び緊急時連絡体制を整備しているほか、令和5年度から職員に防災管理者講習を受講させている。
--------------	---

＜観点Ⅳ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	実績報告に記載のとおり、施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	A	突発的な施設の破損等に職員が迅速に対応し、児童会館の開館や劇場の公演への影響も最小限にするなど、適切に対応していることからA評価とする。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

児童の安全に配慮しながら健全な遊びを提供し、児童の健康の増進等に寄与しているほか、共働き世帯が増えたことにより、放課後の児童の「子どもの居場所」として活用されている。

○施設運営の課題

- ・施設の老朽化
- ・老朽化・故障などによる遊具の減少
- ・光熱水費の高騰

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

- ・引き続き児童の健全な育成へ向け、様々な遊びの提供や人間性、創造性を育む機会を提供する。
- ・利用者が常に安全に利用できるよう、計画的な施設の修繕を行う。